

令和3年度 学校経営計画

1 学校教育目標

農の心を伝承する。
花を呼び寄せ、資質を磨く。
培った成果を発信する。

校 訓

叡 智 感 性 畏 敬

2 学校の特徴

本校は、昭和26年に富山県立出町高等学校若林分校として若林中学校に併設され、開校した。以来農業教育の専門高校として、地域の要望と期待に応え、郷土の農業を担う多くの人材育成に努めている。平成7年からは生涯学習社会に対応し、地域社会と連携した3つの学習機能（小矢部園芸高校、園芸カレッジ、園芸学習センター）の充実を図り、園芸科と専攻科園芸科を有する学校として歩んできた。

定時制の課程 園芸科 昼間単位制

園芸に関する基礎的・基本的な知識と技術を学び身に付けるために、園芸に関する選択科目も含めて幅広く農業について学んでいる。また、各種資格取得・検定に取り組み、増加単位として認定している。

インターンシップでは、県内の委託実習の勤労体験学習を行っている。

また、日本学校農業クラブ連盟の各種競技会・各種発表会や定時制の体育活動・高文連活動において全国大会にも毎年出場し、成果をあげている。

専攻科 園芸科

園芸系列と造園系列を設置し、幅広い年齢層の方々を対象とし、それぞれの専門分野における知識・技術について学ぶとともに、生涯学習の一端を担っている。

園芸学習センター

地域住民に園芸相談を行っている。

3 学校の現状と課題

(1) 現状

本校生徒は課題研究や農業実習など体験的な学習を通して、野菜、草花、造園に関する技術や生産・経営面について学習している。生徒は素直で黙々と頑張る反面、やや消極的な面が見られるので、何事にも積極的に挑戦するよう、資格取得や各種大会出場を重点課題におく。

(2) 課題

- ① 基礎学力の向上及び資格取得
- ② 農業教育の充実・発展
- ③ 基本的生活習慣の確立